DJ-P921 拡張セットモードについて

DJ-P921 特定小電力トランシーバーには、普段の使用には余り必要が無くても環境や特定のニーズによってカスタマイズできると便利な項目を拡張セットモードに持たせています。標準の設定項目にしなければならないほどには頻繁に使われない上、意味が分かってお使い頂かないと電池を早く消費したり、「故障かな？」と思うような動作をしたりする可能性があるため、これらは下記のキー操作にてセットモードの拡張を行った後に設定画面に現れるようになっており、敢えて取扱説明書には記載しておりません。

これら拡張項目は設定変更後に再びメニュー表示を隠したり、完全初期化（標準セットモード、チャンネル設定なども含めた全てを工場出荷状態に戻すリセット）することが可能です。
拡張することにより追加された項目は、標準セットモードの末尾に続けて表示されます。

■セットモードの拡張方法
① ［ロックキー］を約1秒間押し続けキーロックします。
② キーロック後5秒以内にダイヤルを5回押します。
→「ピピ」と鳴りセットモードが拡張されます。標準セットモードの末尾に項目が追加表示されます。
③ 拡張表示を閉じるには②項と同じ操作をします。
④ すべての項目を工場出荷状態へ戻す場合はオールリセット操作をおこないます。
オールリセット：［F キー］と［ダイヤル］を同時に押しながら電源を入れる。

1：AGC 機能「AGC」
設定値　ON／OFF（初期値 ON）

送信変調回路のゲイン（利得）を自動調整し、過変調（音割れ）を抑える機能です。
お使いになるオプションマイクによって受信側から聞こえる音声が小さいと感じるような場合には、本機能の設定変更をお試しください。

2：AGC ターゲットレベル調整「ｔG-06」
設定値　03～24／（初期値 06）

マイク AGC 設定を入れたときに、歪みを緩和させる音量のポイントを調整することができます。
設定する数値を小さくすることで、より大きい声のときの歪みを緩和させます。逆に数値を大きくすると小さい声の歪みを緩和することができますが、相手に自分の声が小さく聞こえます。これも受信側の機種との相性も含めて、下手にいじると逆に送信音を悪くすることがあるので必ず実験してからご使用ください。

3：テールノイズキャンセル機能「tC」
設定値　ON／OFF（初期値 ON）

本機はグループトーク機能を入れていなくても、通話終了時に受信側から聞こえるテールノイズ（受信状態から待ち受け状態になるときの「ザッ」というノイズ音）を除去するテールノイズキャンセル機能が入っています。テールノイズキャンセル機能は送信側と受信側の両方で有効にしたときのみ動作します。
この機能が入っていないトランシーバーと通話するとき、この設定を変える必要はありませんがテールノイズは聞こえてしまいます。

4：音量変更「voLH」
設定値　L／H（初期値 H）

音量が大きい場合には L 設定にして全体的にボリュームを下げることができます。スピーカーマイクで大きな音を鳴らしたい時は H 設定にします。

※ 初期のロットには出てこない項目も記載しています。

アルインコ株式会社　電子事業部